

No.9 青少年スポーツ振興事業（令和5年度新規事業）

1 スポーツ少年団活動等の現状

< 3年前との比較 >

	少年団		スポーツ協会 (大人含む)	
	チーム数	登録人数	チーム数	登録人数
令和元年度	52	1,053人	37	14,173人
令和4年度	49	818人	35	12,035人
増減	▲3 (▲5.8%)	▲235人 (▲22.3%)	▲2 (▲5.4%)	▲2,138人 (▲15.1)



- ・ 人口減少、少子高齢化により、市内では各競技において競技人口の減少や活動が縮小
- ・ 団員の募集方法もポスターの掲示等に限定

No.9 青少年スポーツ振興事業（令和5年度新規事業）

2 現状の改善策として


- 将来的に活動を維持するためには、若年層の競技人口拡大が不可欠
- 団員の募集方法についても、より効果的な周知方法が必要



活動内容を紹介する動画を作成し、インターネット等で公開

No.9 青少年スポーツ振興事業（令和5年度新規事業）

3 本事業の概要

 市内で活動する青少年のスポーツ団体取材し、活動実態を伝える動画（番組）を制作、市の公式YouTubeなどで公開

→番組名 Come!Come!スポーツキッズ

→回数 8本以上／年間（7月～3月）

→内容

- ・チーム紹介（子ども、指導者、保護者の声）
- ・競技紹介（練習風景、別日の大会の様子など）
- ・活動内容（練習スケジュール、月謝・経費など）
- ・スポーツ関連事業のお知らせ（スポフェス、教室など）

→発信
メディア

- ・YouTube（市公式）
- ・苫小牧ケーブルテレビ（番組）
- ・スポーツ施設で放映

※動画は、広報紙のコーナー、LINE、Facebook（市公式）の投稿で周知

→実施体制

・苫小牧市スポーツ都市推進課	企画立案、動画公開、周知
・苫小牧市スポーツ協会	取材先の調整（募集、選定）
・苫小牧ケーブルテレビ	動画制作（企画、撮影、編集）

No.9 青少年スポーツ振興事業（令和5年度新規事業）

4 これまでの配信動画(1)

第1回



○公開日 8月18日
○再生回数 約1,500回

第2回



○公開日 9月19日
○再生回数 約2,400回

No.9 青少年スポーツ振興事業（令和5年度新規事業）

4 これまでの配信動画(2)

第3回



○公開日 10月17日
○再生回数 約800回

第4回

苫小牧ソフトテニス
スクール
11月上旬公開予定



第5回

和道流 成空会川沿
12月上旬公開予定

No.9 青少年スポーツ振興事業（令和5年度新規事業）

5 配信動画の構成

➤ 子どもたちや保護者が実際に活動への参加を検討するために必要な情報を提供

- ・ 練習風景
- ・ 監督へインタビュー（チーム概要について）
- ・ 選手へインタビュー（始めたきっかけ等）
- ・ 保護者へインタビュー（子どもの成長を感じる点等）
- ・ リポーターが練習を体験
- ・ 団員募集の呼びかけ

6 配信動画による効果（期待）

➤ 少年団等への加入促進のほか、全国初のスポーツ都市宣言のまちをPR

- ・ 子ども（保護者） ⇒ 各団体の活動を知り、加入を促進
- ・ 団体選手 ⇒ 取材を通じ、モチベーションの向上や活動への誇りを醸成
- ・ 住民 ⇒ 活発なスポーツ活動を市内外に発信し、スポーツ都市をPR

No.9 青少年スポーツ振興事業（令和5年度新規事業）

7 全国初スポーツ都市宣言のロゴ作成

- 全国で初めてスポーツ都市宣言を行ったことを周知するため、ロゴを作成
- ステッカー・クリアファイルを制作し、取材協力団体等へPR

▶ ロゴ



▶ クリアファイル

